

平成22年5月28日13時発表
国土交通省 筑後川ダム統合管理事務所

平成22年5月22日～24日出水における松原・下笠ダムでの 洪水調節効果について

大雨による水量の一部を松原・下笠ダムでしばらく貯め込むことにより、ダム下流域の急激な水位上昇を抑え、河川利用面での安全を確保しました。

- 前線の影響により、5月22日17時頃から降り始めた雨は、24日10時までの累計雨量が、松原ダム流域で258mm、下笠ダム流域では329mmに達する大雨となりました。
- 松原・下笠ダムにおいては、降雨によって増えてくる水（ダムへの流入水）に対し、本来なら22日の夜中からダム下流へ少しずつ増やしながらか流していくところを、ダム下流域での河川利用者、船の係留、イベント施設等の安全な退避を図るため、23日の12時頃までダムに水を貯め込み、ダム下流河川の急激な水位上昇を抑え、河川利用面での安全を確保しました。
- このダム操作により、23日12時に松原・下笠ダムへの流入量毎秒約450m³に対し、松原ダムからの放流量を毎秒約60m³に抑え（約87%カット）、ダム下流域への急激な水位上昇を約12時間抑えることが出来ました。
- 23日の17時には、松原ダムより毎秒約600m³の最大放流量に達し、その後ダムへの流入水の減少にあわせ、徐々にダム下流へ流す水の量を減らしながら27日13時に大雨に対する操作を終了しました。

※ 本資料は、筑後川ダム統合管理事務所ホームページ(以下のアドレス)に掲載しています。

<http://www.qsr.mlit.go.jp/toukan/>

※ 速報値のため各数値は変わる場合があります。

〔お問い合わせ先〕

国土交通省 筑後川ダム統合管理事務所

TEL : (0942)39-6651 (代)

携帯 : 090-1871-6259

管理課長 : 松岡 忠浩